

# 発熱トリアージ開始から1年の経過：2020年3月～2021年2月



発熱トリアージ開始から早1年が経過します。

患者様・ご家族様はじめ、ご来院の皆様にはご不便・ご迷惑おかけし申し訳ございません。当院のスタッフもかつてないことで日々戸惑い、四苦八苦しながら現在に至っております。皆様のご努力があってのこと、本当にありがとうございます。

この1年を皆様とともに振り返り、引き続き協力しながら現状に立ち向かっていこうと思います。



仕事中のスタッフの状況と思い

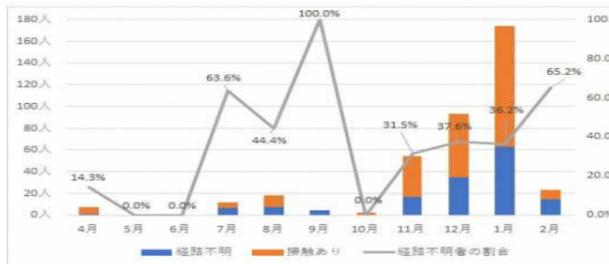
スタッフが自宅で注意したこと

©2019年12月以降、中国武漢市において原因となる病原体が特定されていない肺炎の発生が複数発生

年	月	主な出来事	写真・イラスト	スタッフの思い	家族の注意
2020年	1月	6日 厚生労働省：国内発生動向を発表 15日 国内で1例目の患者発生 17日 厚生労働省から状況及び対応について通達	院内ポスター掲示、看板設置	未知のウイルスがとても不安でした。	コロナのことがわからないときは、家でも自宅にこもり、食事などは1人で食べていました。
	2月	1日 「新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令」施行 21日 感染症指定医療機関以外への入院情報あり	DMAT派遣①、2/12帰院	発熱外来当初、マンパワー不足で怒鳴る人も多く、とても苦労しました。	アルコール消毒や手洗いを必要以上に行うようになっています。
	3月	2日 地域蔓延期に備え、看護体制・病棟利用状況を検討 6日 職員の健康観察開始 10日 ミンティ（空気感染隔離ユニット）設置 23日 発熱トリアージ開始	DMAT職員、エプロン作り頑張りました!!	玄関でのソーシャルディスタンスの意味を、なかなか分かってもらえないことが多くありました。	帰るとすぐに風呂に入っています。
2020年	4月	7日 国：「緊急事態宣言」発出 10日 県：「愛知県緊急事態宣言」発出 16日 国：「緊急事態宣言」の区域変更	サージカルマスクの使用が3日に1枚となりました。	検温の必要性を理解してもらえず、苦情対応が大変でした。物品不足も大変でした。	PCR検査直前は家庭内感染を防止するために、ホテルを利用したり、家族と離れて生活していました。
	5月	4日 国：「緊急事態宣言」の期間延長 7日 新型コロナウイルス治療薬に「レムデシビル」特例承認：国内初 11日 「新型インフルエンザ等対策特別措置法」制定 14日 国：「緊急事態宣言」の区域変更 愛知県を含む39県の解除 21日 国：「緊急事態宣言」の区域変更 大阪府・京都府・兵庫県の解除 25日 国：「緊急事態解除宣言」 残り5都道府県の解除 26日 県：「愛知県緊急事態宣言」解除	「サーモグラフィ」や「屋外診察室用のコンテナ」、「パテーション」や「面会制限」など、いろいろなことを検討しました。	外来業務を行ったことがない中で、トリアージ対応を行うのは大変でした。	食事は紙コップ・割りばし、皿に小分けして食べていました。
	6月	1日 サージカルマスク供給不安のため2日間使用へ	「サーモグラフィ」や「屋外診察室用のコンテナ」、「パテーション」や「面会制限」など、いろいろなことを検討しました。	エプロン不足でした。途中で脱ぐこともままならず、汗だくで仕事しています。	大皿料理はやめて、家族全員それぞれ取り分けて食べています。
2020年	7月	22日 国：「Go To トラベル」開始	「サーモグラフィ」や「屋外診察室用のコンテナ」、「パテーション」や「面会制限」など、いろいろなことを検討しました。	防護具（フェースシールドやマスク等）不足にて個人で購入したり、手作りで対応しました。（多数）	情報を漏洩しないように家族との会話を減らしています。
	8月	6日 県：「愛知県緊急事態宣言」発出 24日 県：「愛知県緊急事態宣言」解除	「サーモグラフィ」や「屋外診察室用のコンテナ」、「パテーション」や「面会制限」など、いろいろなことを検討しました。	感染防御のフル装備は負担が大きくなり、すぐに処置などできない状況です。	子供や家族に、自分が市民病院に勤務していることを口外しないように伝えていました。
	9月	22日 PCR検査装置設置 正面玄関にサーモグラフィ設置 屋外診察室（ユニットハウス）設置	「サーモグラフィ」や「屋外診察室用のコンテナ」、「パテーション」や「面会制限」など、いろいろなことを検討しました。	発熱担当医師は通常業務も行って、走り回って仕事をしている姿をよくみかけます。	自分の勤務内容は家族には伝えないようにしています。（時には嘘ついてごまかすこともあります。）
2020年	10月	1日 国：「Go To イート」開始 →停止判断は都道府県ごとに決定	「サーモグラフィ」や「屋外診察室用のコンテナ」、「パテーション」や「面会制限」など、いろいろなことを検討しました。	コロナ陽性患者さんに接した後はその後心配で、不安な日々を送り続けるのがつらいです。（多数）	自分も家族も予防は徹底して行っています。洗濯は別にしています。
	11月	18日 オンライン面会開始 10日 サージカルマスクと長袖エプロンの備蓄数増加	「サーモグラフィ」や「屋外診察室用のコンテナ」、「パテーション」や「面会制限」など、いろいろなことを検討しました。	無症状の方が検査結果「陽性」の時もあり「自分は大丈夫」か心配になります。	子供とのコミュニケーションが取れず、違和感を感じることがあります。
	12月	28日 国：「Go To トラベル」一時停止	「サーモグラフィ」や「屋外診察室用のコンテナ」、「パテーション」や「面会制限」など、いろいろなことを検討しました。	トリアージの対応方法に戸惑うことが多くありました。	自宅でもマスクを着用して会話しています。
2021年	1月	7日 国：「緊急事態宣言」発出 13日 国：「緊急事態宣言」の区域変更	「サーモグラフィ」や「屋外診察室用のコンテナ」、「パテーション」や「面会制限」など、いろいろなことを検討しました。	PCRなどの検査対応はとても複雑で、変わることも多いため把握するのがとても大変です。	外出を極力控えて生活しています。
	2月	2日 国：「緊急事態宣言」期間延長及び区域変更 26日 国：「緊急事態宣言」の区域変更	「サーモグラフィ」や「屋外診察室用のコンテナ」、「パテーション」や「面会制限」など、いろいろなことを検討しました。	発熱患者さんの救急車対応が重なる時、すぐにマンパワーが不足し大変です。	親のことが心配だけど、実家にも帰っていません。（多数）

## 西尾市

令和2年4月～令和3年2月の感染経路別新規感染者数と経路不明者の割合



令和2年4月～令和3年2月の新規患者数  
男：214 女：172 合計386 (出典：西尾市役所ホームページ)

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、県内外の企業・団体様、個人の方から多数のご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。当院のスタッフにとって、温かいご支援やご声援が励みになっております。

- 医療従事者への支援
- 医療用備品が不足しているというテレビ報道を見ました
- 医療従事者・勤務者の皆様への感謝のため、感染防止に協力・支援をしたい
- 感染予防対策支援
- 医療従事者への感謝の気持ち
- 新型コロナウイルスのため国中が大変になっている今、役にたてたい
- コロナウイルスの影響により、マスク不足で困っている医療従事者の方々の力になりたい
- 医療物資が不足している中で役に立てほしい
- 新型コロナウイルス感染拡大予防に対する支援活動
- 職員の感染防止に役立ててほしい
- 自宅に保管していたものが病院で使用してほしい
- 市民病院運営のために
- 医療機関等で物資が不足していると聞いた
- 病院経営への支援

